キャラクター名
愛葉花恋(あいば かれん)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス モルフェウス	ワークス	ゼノスビーイングB	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	8(16~18)	性別	女
覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	42 %
出自	偽りの家族 04	経験	組織への所属 88	邂逅	幼子 77

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2		0			2
感覚	3	1	0		1	5
精神	2		0			2
社会	1		0			1

HP	26
行動値	12
(非装備時)	12
戦闘移動	17
全力移動	34

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	3		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：ゼノス	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
死が二人を分かつまで		0				侵蝕率+28 回避不能d10+100ダメージ

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ:都築京香	
貴種の接吻	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
複製体	P	N		
古代種	P	N		
暴鬼非無	P 誠意	N 脅威		
シナリオロイス:都築京香	P 尊敬	N 恐怖		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	常5	常時					
効果：	衝動判定のダイスに+1							
オリジン:プラント	1	2	マイナー					
効果：	達成値+[Lv*2]							
原初の赤:赤き弾	1	3	メジャー			射撃		
効果：	ダメージ+[Lv*2]、HP-2							
原初の白:マシラのごとく	3	7(3)	メジャー		単体	S	80	
効果：	ダメージ+[Lv*10]、ダイス-5、一回							
原初の黒:オーバードーズ	1	6(3)	メジャー			S	100	
効果：	組み合わせたエフェクトのLv+2、Lv回							
混色の氾濫	1	2	メジャー		範囲(選択)	S		
効果：	範囲(選択)へ変更							
カスタマイズ	1	2	メジャー			射撃		
効果：	ダイス+[Lv]個							
クリスタライズ	1	4	メジャー			S	100	
効果：	ダメージ+[Lv*3]、装甲無視、三回							
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	メジャー			S		
効果：	C値-[Lv]							
ウルトラボンバー	3	6	メジャー	至近	範囲	射撃		
効果：	ダメージ+[Lv*5+5]、リアクション不可							
フラットシフト	1	0	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ			全て		
効果：	侵蝕値を0に変更							
デジャヴュ	1	2	メジャー	至近	自身	自動		
効果：	GMに対して疑問点を直接質問できる。シナリオLv回							
イージーフェイカー:かぐわしき鮮血	1	0(1)						
効果：	血の匂いに敏感							

【キャラ紹介】
ヤンデレ系自爆少女。元は植物のレネゲイドビーイングだったようだが、元々いた研究所で自分を実験に使っていた科学者が宥め空かすために口にした「これも愛なんだよ。私も君が好きだけど仕方なくやっているんだ」という言葉を受けて、そういうのも愛なのだと学んでしまった。というよりもそれしか知らない。
基本的に愛情について何もわかっていないので感情が薄い。ただ、愛の形については様々なものがあると理解しており、その類型に当てはまる言動をした相手に対して攻撃する。自爆の際には皮膚を裂いて滴る血が地面に落ちた瞬間、そこを起点に爆散することになる。威力は凄まじい、というかそれしか出来ない。
普段はクール系で無表情、それでいて非常に美人。楚々としたと言えば聞こえはいいが、常に無機的で冷めた印象を受ける。外見は年齢相応とは言い難いが、古代種なので小学生～中学生から成長していないせいだ。身長体重は平均程度で、自称すれば高校生にも中学生にもなれるだろう。両親やクラスメイトとは全くの没交渉で、他称は『花瓶』。ただ、図書委員は彼女がよく恋愛小説を借りていくことを知っている。二年ほど行方不明だったことはクラスメイトの暗黙の了解の内で、刺激するべきでもないし刺激してどうこうできることもないので向こうから声を掛けたりもしない。ただし、話しかけられれば不愛想すぎないくらいの応答はするだろう。一般人に自分から干渉する必要を感じていないだけだ。光のない半眼、何処か不思議な態度もその影響だと思われている。
彼女自身はフラワリーよりも感情を理解していない関係で感情を『非合理的』としている。なぜ非合理的でありながら押し通すのか、それが疑問だ。愛に関しても『好意』そのものを対象に感じているわけではなく、自分や相手の行為を抜き出して『好意の表象』に分類されるものがあった場合、恋と認定する。『好意の表象』とは彼女の中では『自分に歯向かうもの』も含まれる。心の高ぶりは愛情なのではなく、その行為に応えようという返礼の意識でしかない。
日く「心が震えるほど、熱い愛が造血されていく」らしい。
実際、彼女が相手のことを想うのに比例して体内で血液が増加し、造血された血液にはニトロが含まれている。これが強心効果を発揮し、心臓の鼓動は大きく早くなり頬は紅潮するため熱に浮かされたような、或いは恋心で蕩けたように見える。この能力は愛葉のオリジナルが持っていたものを受け継いでおり、元は『ポジティブになり、運動能力がちょっと上がる能力』程度だった。レネゲイドビーイングに支配されウロボロスによって能力が進化、彼女を実験に利用していた科学者も気付かなかった『全身の血液を起爆させる能力』へと変貌。科学者ごと研究所を爆砕した。
罪悪感などはない。相手の愛に、最大級の愛で返したら相手が受け止めきれずに破談した、それだけのことだと思っている。また、爆発後は全身のニトログリセリンを消費するため拡がっていた血管が収縮し、いつにも増してダウナーな気分になる。躁鬱が強引に切り替えられる上、それを耐え抜くような人間もいないせいで、一度爆発すると恋は冷めてしまったと感じる。
それでも彼女なりに『愛』は一番大きな謎にして根幹にある感情のようで、行動理由は大体『愛』である。『執着』などもそれと同一視しており、他人の愛を

キャラクター名
愛葉花恋(あいば かれん)

プレイヤー名

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ

所持品			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
シークレットトーク	1							
効果：	オーヴァードにしか聞こえない声で会話できる							
ディメンジョンゲート	1							
効果：	どこでもドア							
文書偽造	1							
効果：	婚姻届を偽造する							
万能器具	1							
効果：	色々作れるよ							
まだらの紐	1							
効果：	他人の影に自分の影を忍び込ませ、情報を見聞きできる							
無上厨師	1							
効果：	ヤンデレだから料理も出来る							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								